



幸樹

こう じゅ

第94号

2023年1月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



『森の冒険』

絵・高橋 聖大

あけまして おめでとうございます

一般社団法人幸樹会代表理事 中野 三代子

昨年中、皆様にはたいへんお世話になりました。2022

年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか。個々にも様々な出来事があったと思いますが、世界情勢に大きな変化がありました。ロシアのウクライナ侵略が起きた日、ニュースでそのことを聞き、ショックをうけたことを思い出します。「大変なことが起きた」と。その後も世界各国で、

武力による衝突が続いています。また、年末までコロナ感染症第8波拡大が続き、これも収まる様子がありません。心配なことです。幸樹会の理念のひとつに「平和で

自由に安心して暮らし続けることができる地域づくりに参加する」がありますが、身近な地域の平和から、世界の平和まで思いを馳せることができるよう日々、よく見て考え、判断し実行することを続けていきたいと思いません。迎える 2023 年は卯年。鳶目兎耳（えんもくとじ）という熟語がありますが、鳶の目は遠くまで見通し目ざとく見つけることができ、兎の耳はかすかな音も聞き洩らさないという意味で、そんな情報収集能力を持った人を表すそうです。また、卯の文字は、兎の飛び跳ねる姿から、飛躍・向上を象徴していると言い、別に「植物の成長する様」の意味を持つそうで、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。幸樹会が卯年にふさわしい一年を過ごせるよう頑張ります。本年もどうぞよろしく願いいたします。



いつも脳に
活力を!



榎本明さんにお聞きしました

榎本さんは、H10年に脳出血を発症し、右片麻痺になって、リハビリを続けてこられました。あんず訪問看護ステーションでは昨年3月からリハビリと、訪問看護で伺っています。自宅で過ごしやすいうご自身で、色々と工夫されており、にこやかに説明してくださり、「それいいですね!」と、こちらも感心しています。そんな素敵な、榎本さんに、人生経験についてお話を伺いました。

(聞き手・看護師 村里 恵)

榎本さんは、岩手県遠野市の出身。3人兄弟で高校入学までは岩手で過ごされました。その後、すでに就職していた一番上のお兄さんが大けがをしたことがきっかけで、高校を中退。東京に出て、昼間は氷屋さんで働き、夜は神田の一橋高校の夜間部で学び、4年で卒業。法政大学の2部に入り、氷屋の仕事の続けながら学び、卒業されたそうです。学生時代のバイトのつもりで入った仕事が、色々と頑張っ業績を伸ばし、いつの間にか本職になって、20年くらい続けたそうです。最期は、社長の具合が悪くなり、会社を辞めたので、榎本さんも退職となったそうです。

奥さんとは、氷屋さんの時代に、奥さんの兄嫁さんの紹介でお見合いをし、意気投合して、明さんが31歳、奥さんが30歳の時に、ご結婚されたそうです。

氷屋さんを辞めた後は、奥さんのご実家の植木屋さんに、見習いで入ったそうです。30歳を過ぎての、見習いで、お父さんも昔堅気の職人さんで、厳しいことも多く、苦労されたことも多かったと話されます。

職人さんは、口伝だったので、間違っことも、正しいと思って伝えていることもあったそうです。榎本さんは、それでは良くないと思い、神田神保町の本屋に行き、本でいろいろと調べました。「本でも勉強しつつ、実地でも学んでいったから、吸収は早かったよ」と語る榎本さん。時には、お義父さんに、本で学んだことを伝え、間違いを正したこともあったそうです。お義父さんも熱心な、榎本さんを見ていたので、「お前はよく勉強しているのを知っているから」と受け入れてくれたそうです。そうした、努力があり、新しいお客さんも増えていきました。職人さんも、多いときは、7.8人雇って仕事されていたそうです。職人さんは、変わり者が多くて、まとめるのはたいへんだったそうです。

仕事先は、個人のお家が多かったそうですが、このままでは、自滅してしまうと思い、方向転換を考えたそうです。公共造園の世界にも入っていき、公団の植木の剪定や、江戸川や利根川の河川敷の雑草刈等にも、事業を広げていったそうです。幸樹会の近くの、八柱霊園の植木の手入れにも入られていたそうです。

H10年に脳出血を発症してからは、仕事は引退し、職人さんたちもそれぞれの道に進んで行ったそうです。

「今のこの家は、嫁さんの物なんだよ」と話す榎本さん。榎本さんの努力があつての物ですね。庭は、病気になってから造ったそうです。右側に麻痺があり、「脚立も2段ぐらいいしか登れないので、大きな木はないでしょ。小さな木を買ってきて植えたんだよ。どのくらい大きくなるか分かるからね、それを考えて植えた。」と話してくれました。岩や井戸も配置されていて、素敵なお庭です。今は、娘さんが手入れをしてくれているそうです。



榎本さんは、今も漢字のクロスワードパズルをして、脳に活力を与えているそうです。「脳を鍛えていけば、少々体が動かなくても何とかなる」そう話す榎本さんは、とても頼もしいです。そのほかにも、毎日、新聞のコラム欄を、利き腕ではない左手で、大学ノートに書き写すことを日課にしているそうです。少し癖のある字で、びっしりと文字の書かれたノートを見せてくださいました。「ようやく、ここまで来たよ」と細い線の中に、きれいに文字が並んでいます。

これからも、リハビリで、筋力を維持しつつ、脳にも活力を与え、自宅で元気に過ごせるよう、応援しています。

看多機さんしよの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、さんしよを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

虎の門病院 研修医 2年目 三浦 康弘

地域医療のイメージが具体化できました

本日は貴重なご機会を頂戴しまして、誠にありがとうございました。午前中は訪問看護、午後は看護小規模多機能を見学をさせて頂きました。実際の現場を見ることで、看護師や介護士の方がどのようなところに注意しているのか、また実際に介護サービスをどのような方にどのような形式で提供しているのかということ、具体的な事例も含めて親切に教えて頂いたことで、より地域医療のイメージを具体化することができ、大変勉強になりました。自分が将来進む診療科でも患者さんの退院の際は、今回の貴重な経験を生かして、患者さんのよりよい生活の実現に向けて少しでも貢献できればと思っております。

一日という短い時間でしたが、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

薬剤師 の こころ

からたち薬局・薬剤師 桐山章宏

薬剤師は普段外来で来局される患者さんの対応や、在宅医療で患者さんのご自宅でお薬を管理することなどの業務以外に、地域活動として、健康フェスティバルなどの催し物で健康相談を行うことなどもあります。11月のことになりますが、11月6日に開催された松戸市秋の健康フェスティバルにて松戸市薬剤師会の一員として血圧・体脂肪測定を行いその結果をもとにお薬や健康についての相談を行いました。

薬剤師は地域活動も！

当日測定した血圧・体脂肪の結果や日常で測っていらっしゃる血圧の数値をもとに食事や運動についてのアドバイスを行ってきました。

約2時間のイベントで、高齢者の方が多かったのですが、自分と同年代の方やお子様まで色々な年代の方が来客され、たくさんの方が色々なブースに参加されていて、みなさん健康を意識されていたりしました。

薬剤師会のブース以外でも骨密度測定や血管年齢測定、

隠れ脳梗塞チェック、歩行テスト、立ち上がりテスト、動的バランステストなど様々なブースがあり、どのブースもたくさんご来客があり活気がありました。

血管年齢測定、隠れ脳梗塞チェックなどは日常では測定することはできないので結果をもとに相談することは難しいですが、日常での血圧・体脂肪測定、外来受診の際の血糖・骨密度・尿酸値測定の結果をもとに健康についてのアドバイスは行えるので、気になる点がございましたらお声かけ頂ければと思います。



デンマーク便り...⑫

ラスムッセン 京子

選挙から40日という最長の遅れで新政府の改革方針が発表されました。閣僚を決めるのに時間がかかったためです。新改革は項目が多いので、簡単に要約してお知らせしますが2回に分けて掲載します。



新政府改革方針決まる

減税と雇用促進

政府は50億DDK(デンマーククローネ)を計上する税制改革によって、実質手取り賃金を増やしたいと考えています。

- ・ひとり親家庭の雇用特別控除が増額されます。この改革により財政収入は7億DDK減少します。より多くの方がパートタイムからフルタイムに移行する機会を与えられます。労働供給量の増加を目指しており、2030年までに正規雇用を4万5千人増やす構造改革を決定する予定です。

- ・職業教育・訓練の強化により、より多くの熟練労働者を確保し、より多くの高齢者が労働市場に長くとどまることを奨励する目的もあります。

- ・ジョブセンターの閉鎖が決定

ジョブセンターを廃止し、国の手続き要件から自治体を開放することで、より自由に雇用活動を組織することができるようになります。

- ・公務員の給与アップ

給与と労働条件に関する特別な枠組みを持つ三者構成交渉に招待し、2024年に10億DDK.2030年には30億DDKに拡大する。この資金は自治体や地域の仕事の削減によって捻出されることになっている。その代わりに、労働者はパートタイムで働く機会が少なくなります。

・早期退職資金と年金について

早期退職制度とシニア積立受給金（若い時から自分で積み立てて、早期退職し＝現時では62歳以降本来の年金がおきるまでの間生活費とする）を廃止しようとしています。高齢者年金は、早期年金の権利と統合される予定としています。新しい制度は2つの受給方法を持つこととなります。本来のものと仮のものです。いずれも公的年金受給年齢の3年前まで利用でき給付水準は15,000DDK程度となる予定。Mette Frederiksenは記者会見でこの計画を「Arne plus（アルネ・プラス）」と呼んでいます。

・インフレ支援強化

1月には予算から捻出する新たなインフレ支援案を提案する予定です。高齢者チェックを受ける高齢者には5,000DDKの非課税枠が追加されます。これはすでに高齢者に送られている5000DDKのインフレ支援に追加されるものです。（ほとんど低所得年金受給者家庭が対象です。）

この続きは幸樹第95号へ

七草マラソンに参加します！

コロナ感染症の影響で、しばらく開催されなかった松戸市の「七草マラソン」が1月8日（日）に開催されます。幸樹会から9名が参加しますので、その意気込みを聞きました。参加が決まってからそれぞれ自主トレをして体調を整えています。感染管理にも気を付けて頑張ります。会場や沿道で見かけたら応援よろしくお願ひします。

- ・息子と一緒に笑顔で完走できるようにがんばります。（あんず訪問看護ステーション所長 看護師 南雲朋子）
- ・七草マラソンの参加は2回目になります！しっかり準備してケガなく完走できるようにがんばります!!（あんず訪問看護ステーション 副所長 看護師 大橋麻子）
- ・完走できるよう一生懸命走りしたいと思います（あんず訪問看護ステーション理学療法士 遠藤誠）
- ・ケガせず1時間切るぞ（看多機さんしょう介護福祉士 加藤義幸）
- ・久しぶりに開催される七草マラソン！ めいっぱい楽しんできます！（看多機さんしょう 副所長 岡本健吾）

- ・完走目指して楽しく走りしたいと思います!!（看多機さんしょう 介護主任 宮田敬子）
- ・無理はしない、健康維持!!（あんず訪問看護ステーション看護師 村里恵）
- ・ボート部で鍛えた足・腰で完走めざします！（あんず訪問看護ステーション看護師 佐藤聖佳）
- ・みんな楽しみに走りましょう！（看多機さんしょう 留学生 ロイヒ）

クリスマス会は職員が出し物を披露★

2022年のクリスマス会はコロナ感染症第8波の影響を鑑み、さんしょう利用者と職員だけの小さなクリスマス会としました。

職員がマジックやダンスで盛り上げ、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。



八柱学習会

○12/16、13名参加。

▼次回学習会予定（「定例日：毎月第3金曜日」）

1月20日（金）18:00～ あつまーれ幸樹

「訪問看護・訪問リハビリについて」

あんず訪問看護ステーション副所長 大橋麻子

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

876KWh

幸樹会館電力使用量 5245KWh 自給率 16.70%



職員募集！ 非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550